

# 衆議院国土交通委員会ニュース

平成 20.2.29 第 169 回国会第 6 号

2月29日、第6回の委員会が開かれました。

- 1 道路整備費の財源等の特例に関する法律の一部を改正する法律案（内閣提出第4号）
- ・冬柴国土交通大臣、平井国土交通副大臣及び政府参考人に対し質疑を行いました。

（質疑者及び主な質疑内容）

## 西村 康 稔君（自民）

- ・本州四国連絡高速道路において料金割引社会実験を実施してどのような効果があったか。また、本州四国連絡高速道路の更なる料金引下げに対する大臣の決意を伺いたい。
- ・一般財源化する道路特定財源の用途について、受益と負担の関係も考慮し、ガソリン税を多く負担している地方に配慮する必要があると思われるが、どのように考えるか。

## 石川 知 裕君（民主）

- ・高速道路は戦後どのような優先順位で整備されてきたのか。国土開発幹線自動車道建設会議において地方の意見が十分反映されていると考えるか。
- ・事業量の削減を反映した道路の中期計画の補足資料で提示された生活幹線道路ネットワークの削減はどのような基準でなされたのか。
- ・救急医療体制について、国民の安全・安心を考えるならば、生活幹線道路ネットワークの整備よりも医療圏を確立することが優先されるのではないかと。他府省と連携して予算配分する考えはあるか。

## 鷲 尾 英一郎君（民主）

- ・2月23日から24日にかけての日本海側を中心とした低気圧による被害状況、被害総額及び水産共同利用施設の高波被害に対する救済策はどうなっているか。
- ・古代ローマ帝国は、積極的な社会資本整備を進めたが、その社会資本の維持修繕費によって財政がひっ迫し滅んだとの説がある。我が国の今後の社会資本の維持修繕費の増大が新規投資を制約する見通しはどうか。
- ・我が国の将来の人口減少及び財政難を考慮すると今後更に公共投資を増加させていくことは難しいと思われるが、大臣はどのように考えるか。また、維持すべき社会資本とそれ以外のものとを区分する必要性について、大臣はどのように考えるか。

## 逢坂 誠 二君（民主）

- ・海上自衛隊護衛艦「あたご」と漁船「清徳丸」の衝突事案に関し、海上保安庁の了解なしに防衛省が事情聴取を行っていたことについて、国土交通大臣としてどのように考えているのか。
- ・道路特定財源改革に関する民主党の主張について、大臣はどのような認識をもっているのか。
- ・国土開発幹線自動車道建設会議は、どのようなタイミングで、誰がどのように開催を決定しているのか。

## 穀 田 恵 二君（共産）

- ・今後10年間で、地域高規格道路をどれだけ整備していく予定なのか。また、道路の中期計画に記載されている生活幹線道路ネットワークの形成約2,300区間の中で、地域高規格道路の区間はどのくらいあるのか。
- ・地域高規格道路の法的位置付けと制度創設の経緯はどのようなものか。公共投資拡大路線の下での計画であることから、計画そのものを見直すべきではないか。